

成果報告書

[協働研究事業名]

デジタル技術と地域連携による
いじめの早期発見の仕組みづくりの研究

[提出日]

2023年2月24日

[協働研究事業団体名]

一般社団法人ゼロはら

目次

[1] 協働研究事業の概要・目的	・・・	3P
[2] 申請団体のプロフィール	・・・	4P
[3] 協働研究事業の参加団体のプロフィール	・・・	5P
[4] 協働研究事業の期間	・・・	5P
[5] 協働研究事業の背景	・・・	6P
[6] 協働研究事業の詳細	・・・	7P
[7] 実験結果	・・・	10P
[8] 実験の考察	・・・	14P
[9] 今後の計画	・・・	19P
[10] その他	・・・	20P

[1] 協同研究事業の概要・目的

- ・いじめの認知件数を上げ、早期に取り組む契機をつくる
- ・教育現場と地域が連携し、子どもの健全育成を見守る環境をつくる
- ・いじめ被害者が必要な情報にアクセスできるよう、web 上の情報整理をおこなう

協働研究事業申請時の概要・目的

平成 18 年度分の「問題行動等調査」（正式名称は「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」）から、いじめの件数の呼称は「発生件数」ではなく「認知件数」に改められ、併せていじめの定義（判断基準）についても大きく変わりました。

国立教育政策研究所の「生徒指導リーフ」にも、『単に「数字が多いのは問題」「数字が少なければよい」等と考えるのではなく、「数字の多寡にかかわらず、解消率が高いことが重要」「解消率が高いなら、数が多いのはむしろ積極的に取り組んでいる証拠」と考えることを求める』と明言されています。

「いじめの認知件数を上げ、早期に取り組む契機をつくる」ということは、国の方針にも適うものであり、本研究事業では、これを目的とします。

デジタル技術が発展し、スマートフォンが普及した現代、全年齢で多くの方が容易に web へアクセスすることが可能です。また、低年齢の子どもにもその活用が広がり、三鷹市内では全校児童・生徒にタブレットが配れています。こういった環境を利用し、教育現場と地域からの投稿（報告）を分析します。

また、職場でのパワハラに代表されるように成人年代に対してのハラスメントも社会的問題となっており、子どもに限らず全年齢でのいじめ（ハラスメント）もこの場合の「いじめ」に含むものとします

[2] 申請団体のプロフィール

一般社団法人ゼロはら
<p>[主な事業内容]</p> <p>(定款より抜粋)</p> <p>当法人は、あらゆるいじめ、ハラスメントの根絶及びいじめを抑制することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none">1. あらゆるいじめ、ハラスメントの早期発見と、その注意喚起のための活動2. あらゆるいじめ、ハラスメントの抑制に係る、セミナー及び講演会の開催3. あらゆるいじめ、ハラスメントに係る、教育と啓発事業4. あらゆるいじめ、ハラスメント被害者に対する支援事業5. その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業
<p>[団体紹介]</p> <p>設立準備の期間を経て、いじめの抑制することを目的に 2022 年 12 月に法人設立いたしました。</p> <p>はじめはシステム開発を仕事としている数名が個人的に集まって、基本的なシステムを組んだのが出発点になります。そこに地域のボランティア団体（青年会議所・ライオンズクラブ他）に所属している人や、地域で様々な活動をしている人、広告会社の経営者など、様々な人物が集まり、個人的に出資することで団体を設立しました。</p> <p>地域・社会への貢献のひとつとして最も重要なものとして「子どもの健全育成」があります。それには、いじめに向き合い、取り組むことが必要です。</p> <p>発想の出発点としては子どものいじめがありましたが、様々な方とお話する過程で大人のいじめ（ハラスメント）も重要な社会課題と気付くことができました。今ではあらゆるいじめを対象に活動を行っています。</p> <p>個人的にできるボランティア活動には限界がありますが、団体として地域や行政と密接に連携し、いじめのない明るい豊かな社会の実現を目指し活動を展開してまいります。</p>

[3] 協働研究事業の参加団体プロフィール

	団体名	主な役割
1	株式会社アバスター	基本システムの構築 運営・管理
2	株式会社まんが de ムービー	広告についてコンサルティング等
3	株式会社鍋久	広告・デザインについてコンサルティング等
4	d-free	システム・ユーザーインタフェースについてのコンサルティング

[4] 協働研究事業の期間

2022年6月～2023年2月

- (1) システム開発
- (2) ベータ版公開
- (3) 試用期間
- (4) システム修正期間
- (5) テスト公開
- (6) 利用者アンケート募集

[5] 協働研究事業の背景

協働研究申請時の背景

(社会的背景)

平成 18 年度分の「問題行動等調査」(正式名称は「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」) から、いじめの件数の呼称は「発生件数」ではなく「認知件数」に改められ、併せていじめの定義(判断基準)についても大きく変わりました。

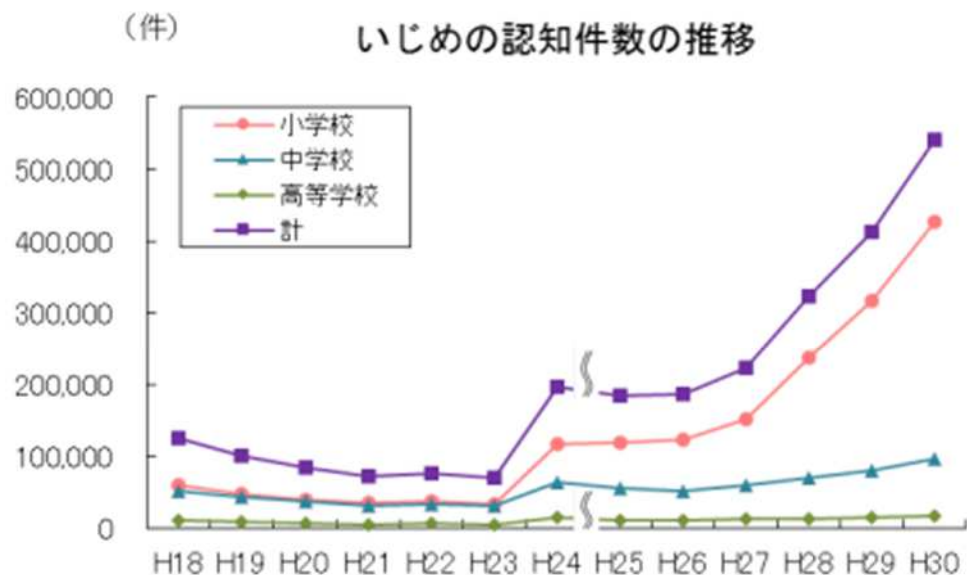
国立教育政策研究所の「生徒指導リーフ」にも、『単に「数字が多いのは問題」「数字が少なければよい」等と考えるのではなく、「数字の多寡にかかわらず、解消率が高いことが重要」「解消率が高いなら、数が多いのはむしろ積極的に取り組んでいる証拠」と考えることを求める』と明言されています。

地域的な特性として、三鷹市の小中学校には全校児童・生徒にタブレットが配布され、より多くの児童・生徒が容易に web へアクセス出来るようになりました。

(技術的背景)

地図アプリとその周辺アプリが容易にカスタムすることが可能になり、情報を地図上に(より分かりやすく)表示することが出来るようになりました。

これにより可視化された情報(いじめの件数など)を提供することが出来ます。



※ 平成25年度から高等学校通信制課程を調査対象に含めている。
また、同年度からいじめの定義を変更している。

[6] 協働研究事業の詳細

[協働研究事業申請時の計画]

いじめの早期発見のための地図アプリケーション「ゼロはらちゃん」のベータ版とテスト公開時に触れて頂き、ユーザーインターフェースの改善を行う。

三鷹市内でいじめ（ハラスメント）についてどの程度の投稿数があるかを検証し、どの程度のサーバー負荷（サーバーへのアクセス数）があるかを検証します。

<コロナの影響による計画の変更>

当初時には、ワークショップを複数回開催し、アンケートに回答頂く予定でしたが、コロナの影響で開催延期が続き、結果として開催を断念しました。そのため知人に個別に依頼することとし、回答数が限定的になりました。

[変更した内容]

いじめの早期発見のための地図アプリケーション「ゼロはらちゃん」のベータ版とテスト公開時に触れて頂き、ユーザーインターフェースの改善を行う。

(1) 実証実験の特徴

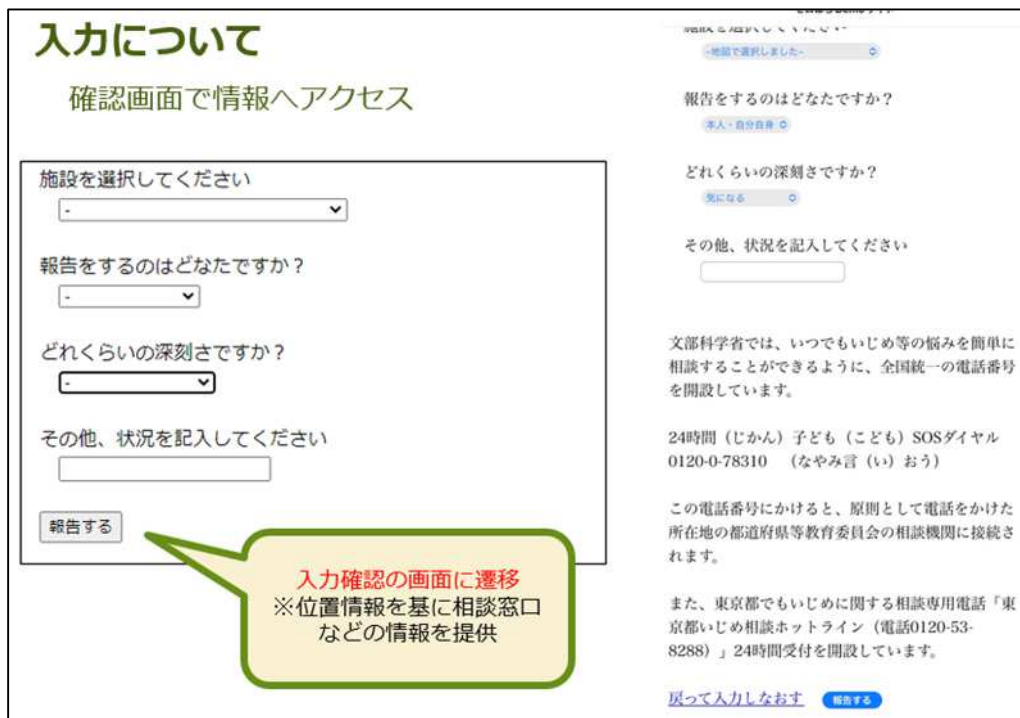
○投稿（いじめの報告）

いじめの現場を見かけた、もしくは自身がいじめの被害者である場合、webサイトに投稿してもらいます。（投稿内容は画像を含むものでも、テキストのみでも構いません。）

この投稿は公開されどなたでも閲覧可能なweb上の地図に「ピン（地図上の旗のようなもの）」として反映されます。このことで、いじめの現状を可視化し、地域で見守る意識を向上します。（左図 PC版 右図 SP版）



参考画像



○警告

ピンの数量が一定の数量を超えたり、少数であっても短期的に急上昇した場合など、危険度をシステム側で測定し、必要に応じて管理者へ警告されます。

○地図上の表示の緩和

教育現場にて「いじめ被害は無かった」と確認が取れた段階で、地図上の危険度表示が緩和されます。

○既存の「相談窓口」との共存

既に多くの、いじめに関わる窓口（電話相談窓口含む）が存在します。しかし窓口に人員を配置する高コストな体制のため、夕方に窓口を閉じるなど、曜日や時間帯が限定的なものがほとんどです。

ゼロはらの特徴は、ITを用いた低コストの体制ということです。24時間365日稼働するいじめ被害報告の窓口として機能し、いじめ被害者にとって有益な情報（既存の相談窓口など）へ誘導する、「web上の交通整理係」として機能します。

○可視化の有益性

これは三鷹市の例ではないですが、「わが子がいじめ被害に遭っていると担任の先生に何度も伝えたが、全く対応してもらえなくて困った」という事例があります。公開されているweb上の地図で、いじめの兆候があると可視化されることで、「いち早く対応しよう」という方向へ誘導します。

○地域連携

投稿については学校内の子どもに限らず、地域住民からの投稿も可能です。保護者以外の地域住民がよりいじめについての報告をしやすくなるので、地域と学校がより近い関係性になることが期待出来ます。

(2) 実証実験の前提条件

協働研究事業申請時には不特定多数の方のモニタを募集し、ワークショップ等を開催した上で回答を得る予定でしたが、コロナの影響により開催を断念しました。そのため、関係者の知人（個人・団体）に協力頂きました。

※参考資料：製作途中のチラシ（製作途中で製作中止のためラフ状態）

[7] 実験結果

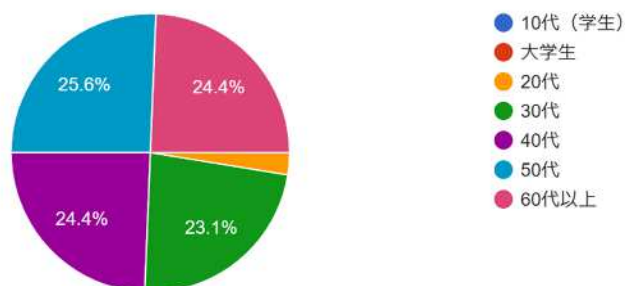
ゼロはらのテスト公開版を実際に操作して頂き、アンケートを実施し、81 件の回答を得ました。

※面談をし、スタッフが代理入力をしたものを含む

※誤字脱字等は原文まま

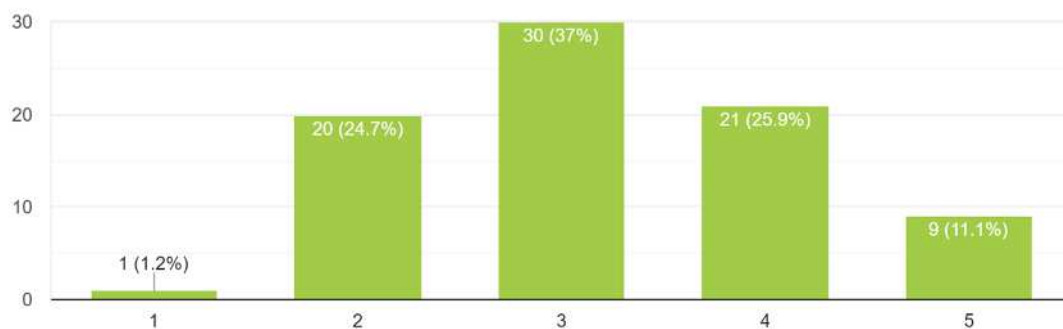
あなたの年齢をお聞かせください

78 件の回答



「ゼロはら」の使い心地はどうでしたでしょうか？

81 件の回答



その理由をお聞かせください。44 件の回答から抜粋

<比較的好感を持って頂いた意見>

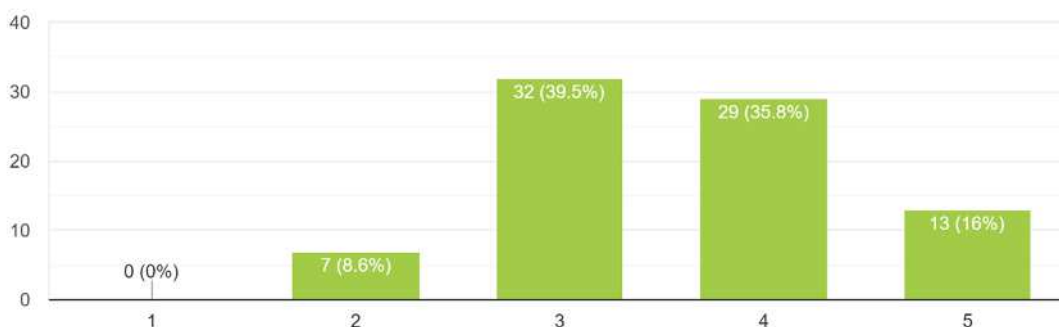
- ・子どもが使っても問題なさそう
- ・使ってみての感想は、直感的に分かりやすいということです。現代の子供なら問題ないのでは？
ページが変わって確認画面になるところで、もっとわかりやすくなると良い
- ・今の子ども達なら操作大丈夫でしょう
- ・スタートとしてはいいと思います

<改善点を指摘して頂いた意見>

- ・はじめて使う際には使いにくい印象
- ・まだ詰めが甘い印象です。改修されるということなので、もっと直感的に使えるようにしたら良いと思います。
- ・低学年には難しいのでは？
- ・スクロールしないと選択肢が見えないので、そこが課題かと思います。
- ・使いにくい印象を受けました。テスト版ということですが、選択肢方式ではなく、地図上に任意に指定しやすくすると良いですね。
- ・小学生には難しいという感覚はあります。
- ・テスト版ということでしたので、改善の余地がありますね。今回はスマホで操作しましたが、パソコンの方も見てみたいです。ボタンが大きくなるといいですね。
- ・たとえばですが、アイコンを大きくするとかすれば全然印象変わると思います。
- ・もし可能なら、選択肢をもっと上部へ表示してはどうでしょうか？地図だけだと分かりにくいです。
- ・画面のピンについて、もっとグラフィックが分かりやすいといいかと

「ゼロはら」デザイン性（視認性）はどうでしょうか？

81件の回答



その理由をお聞かせください。31件の回答から抜粋

<比較的好感を持って頂いた意見>

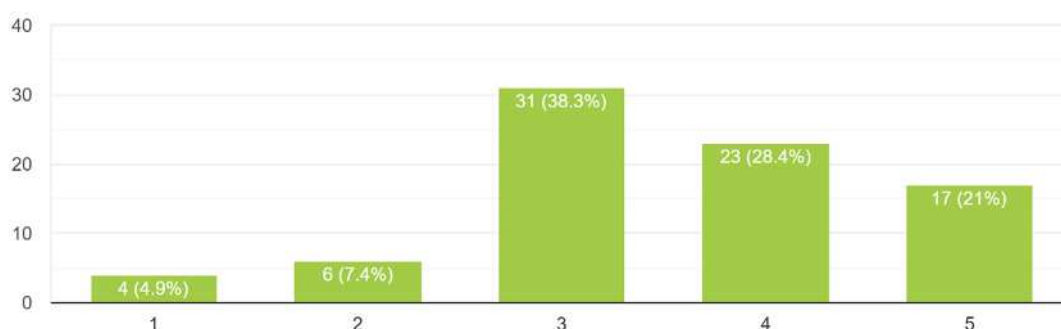
- ・柔らかい印象を受けました。
- ・可愛いアイコンなどがあると子供には良いのではないかと
- ・デザインは良いと思います
- ・必要十分だと思います

<改善点を指摘して頂いた意見>

- ・もっと子供目線のデザインにしてはどうでしょうか？
- ・質問の意図がわかりにくいですが、小学生向けには少しシンプル過ぎるかなと思います。キャラクターなどを作ってはいかがでしょうか。
- ・子ども向けを意識
- ・ゆるキャラ希望です！

ゼロはらの取り組みについて理解が深まりましたでしょうか？

81件の回答



その理由をお聞かせください。40件の回答から抜粋

<肯定的な意見>

- ・とても良い事業だと思います。頑張ってください！
- ・とても良い取り組みだと思います。いじめに悩む子がいないようにしたいと思っていました。皆で見守るということはよいことだと思います
- ・地図で見えるということがいい
- ・説明を受けて熱意は伝わりました。頑張ってください。

<否定的な意見>

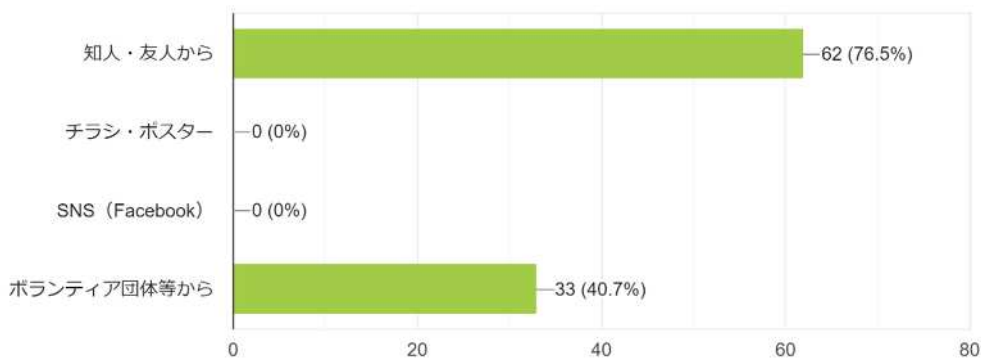
- ・他のやり方があるように思います
- ・いじめは重要な問題だと考えています。
- ・どうやってイジメが無くなるのかが分からなかった
- ・理解はしました。ただ、あまり広まらないのではないかと思います。
- ・イジメが無くなるかは疑問です
- ・いじめ問題は大事ですが、もっと直接的に何か別の仕組みはできないでしょうか？
- ・苛めに役立つかは疑問

<その他>

- ・三鷹にはあまりニーズはないのでは？
- ・どのレベルで情報が見れるんでしょうか
- ・狙いはいいと思っていますので、子どもへに実際に触ってもらうことが大事だと思います。
- ・自分の子どものクラスにも色々ありました。先生の負担が増えないような形で上手く仕組みが出来ればいいかなと思っています。

今回のテストアンケートについてどのように知りましたか？

81 件の回答



補足：計画時はチラシを作成し、SNS 等を活用してモニタを募集する予定でしたので項目が残っています。実際には知り合いのみのため、偏った集計になっています。

その他、何かお気づきの点などあればお聞かせください。22 件の回答から抜粋

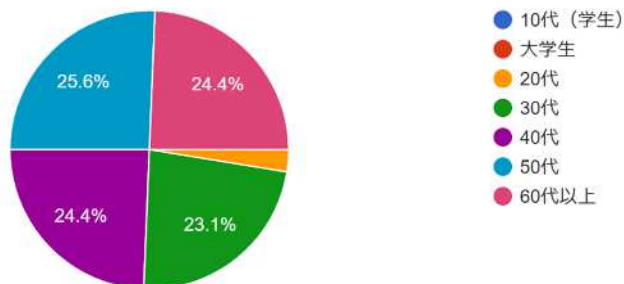
- ・広がりをもどのように作るかが重要だと思いますので引き続き頑張ってください。
- ・知り合いにイジメを受けているお子さんがいます。どうにかできないかと考えていました。
- ・三鷹でない地域でやってはどうでしょうか？
- ・教育現場との連携が必要だと思います。
- ・将来的には大人のいじめも視野に入れるということでしたが、早期に組入れてもらいたいです。
- ・例えばひとつの学校で実験的にやらせてもらうというのはどうでしょうか？
- ・全国に広がるといいですね！
- ・発想は面白いので、続けていってください

[8] 実験の考察

(1) アンケートの年代・構成について

あなたの年齢をお聞かせください

78 件の回答



30代で23.1%、それ以下の年代は20代が2件のみです。

40代以上が3/4になりました。

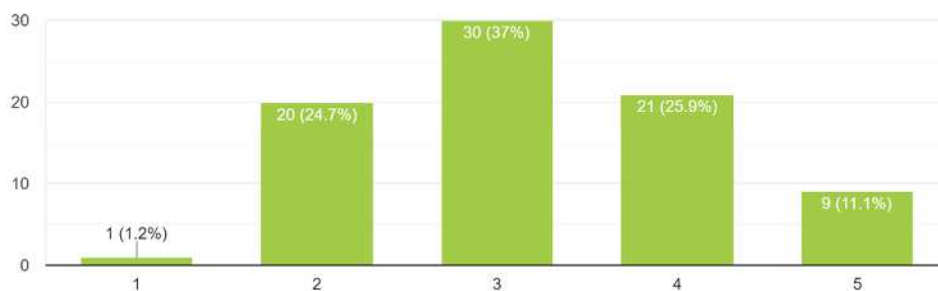
また性別も女性からの回答は数件のみで、90%が男性に偏りました。

当初は高校生や大学生含め、幅広い年代から回答を得たいと考えていましたが、個人的な知り合いを中心にお願いして回ったため偏りが出ました。

(2) 使い心地について

「ゼロはら」の使い心地はどうでしたでしょうか？

81 件の回答



「1」 1件 「2」 20件 「3」 30件 「4」 21件 「5」 9件 (全81件)

平均 3.20

平均点が 3.20 という結果になりました。多くの具体的改善点のご指摘を頂いたの

で改善の余地があるのは間違いないと思われます。

改善点のまとめ

分類	指摘・意見
操作への懸念	<ul style="list-style-type: none">・はじめて使う際には使いにくい印象・低学年には難しいのでは？・小学生には難しいという感覚はあります・もっと直感的に使えるようにしたら良いと思います
アイコン等について	<ul style="list-style-type: none">・ボタンが大きくなるといいですね・画面のピンについて、もっとグラフィックが分かりやすいといい・アイコンを大きくするとかすれば全然印象変わると思います
レイアウトについて	<ul style="list-style-type: none">・選択肢をもっと上部へ表示してはどうでしょうか？・地図だけだと分かりにくいです・スクロールしないと選択肢が見えないので、そこが課題かと思います

操作について小学生には難しいのではというご指摘がありました。一方で小学生でも問題ないという意見もありましたので、この点は今後の課題として小学生を対象にテストを行いたいと思います。

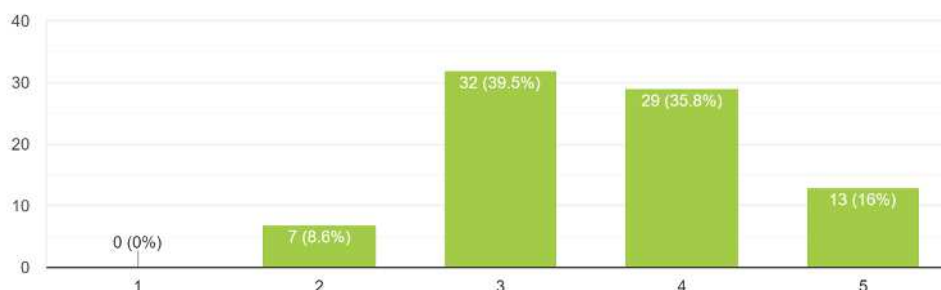
アイコンについてはボタン配置やサイズなどを調整して使いやすいように改修したいと思います。

グラフィックデザインについては、より分かりやすく使いやすいよう改修を行います。

レイアウトについても視認性と使いやすさとの兼ね合いで調整を行います。

(3) デザインについて

「ゼロはら」デザイン性（視認性）はどうでしょうか？
81件の回答



「1」 0件 「2」 7件 「3」 32件 「4」 29件 「5」 13件 （全81件）
平均 3.59

多くの回答が 3 以上ということでデザインについてはある程度評価頂けたと思います。

改善点のまとめ

分類	指摘・意見
デザイン性について	<ul style="list-style-type: none"> もう少し化粧っ気があっていい 柔らかい印象を受けました
子ども向けのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> もっと子供目線のデザインにしてはどうでしょうか？ 小学生向けには少しシンプル過ぎるかなと思います 可愛いアイコンなどがあると子供には良いのではないかな
コスト感	<ul style="list-style-type: none"> 安っぽい
その他	<ul style="list-style-type: none"> キャラクターなどを作ってはいかがでしょうか ゆるキャラ希望です！

デザインについて「小学生向けにした方が良い」という内容のご指摘を多く頂きました。今後の展望として大人のいじめ（職場や家庭でのハラスメント等）にも取り組んでいきたいという思いがあるためのデザインでしたが、改修を検討します。

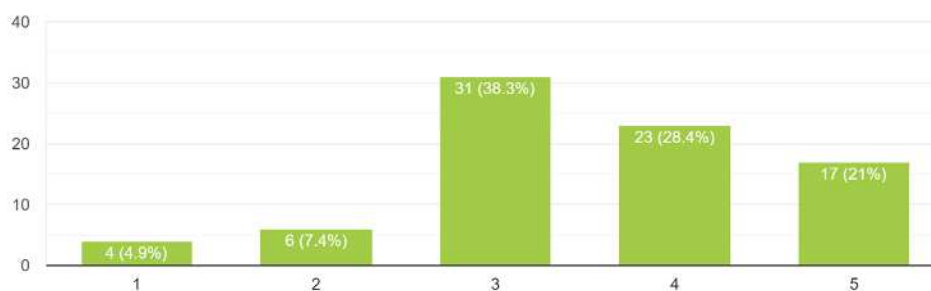
ゆるキャラなどのキャラクターを作った方が良いという意見もありましたが、コ

ストとの兼ね合いもあり、現状では保留とします。

(4) 取り組み自体についてのご意見

ゼロはらの取り組みについて理解が深まりましたでしょうか？

81件の回答



「1」 1件 「2」 6件 「3」 31件 「4」 23件 「5」 17件 (全81件)
平均 3.49

改善点のまとめ

分類	指摘・意見
懸念	<ul style="list-style-type: none">・理解はしました。ただ、あまり広まらないのではないかと思います。・いじめ問題は大事ですが、もっと直接的に何か別の仕組みはできないでしょうか？・苛めに役立つかは疑問・他のやり方があるように思います・三鷹にはあまりニーズはないのでは？
主旨が伝わってない	<ul style="list-style-type: none">・どうやってイジメが無くなるのかが分からなかった
その他	<ul style="list-style-type: none">・狙いはいいと思っていますので、子どもへに実際に触ってもらうことが大事だと思います。
エール	<ul style="list-style-type: none">・とても良い取り組みだと思います。いじめに悩む子がいないようにしたいと思っていました。・皆で見守るということはよいことだと思いました・地図で見えるということがいい

ゼロはらの取り組みについては概ね好印象を抱いて頂いたようですが、一部懸念

点等のご指摘がありました。

いじめの取り組み自体には賛同だが「他のやり方があるのでは？」という内容が散見されました。

この点については将来的には多方面に展開したいと思いますが、まずは社会実験として「ゼロはらちゃん」が有効かを確認した後にしたいと思います。

実際の有効性への疑義に対しては、今後の実証実験にて調査したいと思います。

(5) アンケート対象について

今回、知り合いを中心に回答を頂いたので採点や内容について忖度があったのではないかと懸念しています。

今後、不特定多数の方のモニタを募集したり、実際の教育現場で調査するなど、より客観性の高いアンケートを行っていきたいと思います。

[9] 今後の計画

(1) 改修について

今回得られた操作性とデザイン・レイアウトについてのご指摘を基に、実際に改修を行ってまいります。

使いやすく、視認性が良いことを前提に、大人も子どもも親しみやすいものにしてまいります。ご意見の中から子ども向けに振り切った方が良いというものもありましたが、大人の方にも好感を持っていただけるようなものが望ましいと思っています。

(2) 不特定多数のモニタ

今回はコロナの影響で知り合いを中心にアンケート回答を頂きましたが、チラシ配布や SNS を用いた広報を行い、不特定多数の方からご意見を頂きたいと思えます。

また、実際の教育現場（もしくは限定されたグループ）の児童・生徒にモニタになっていただければと思っています。

(3) 事業目的に対して

事業目的
<ul style="list-style-type: none">・ いじめの認知件数を上げ、早期に取り組む契機をつくる・ 教育現場と地域が連携し、子どもの健全育成を見守る環境をつくる・ いじめ被害者が必要な情報にアクセスできるよう、web 上の情報整理をおこなう

ゼロはらの仕組みそのものがいじめの認知件数を上げるためのものですので、仕組みを完成させより多くの方に使用していただくことで、事業目的を達成します。

[10] その他（参考資料）

- (1) ゼロはらちゃん概要
- (2) アンケート回答（全回答）
- (3) モニタ募集チラシ（製作途中のラフ段階）